

様式第2号（第5条関係）

25年12月5日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員 大西勝博 

このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成25年11月18日 ~ 平成25年11月20日まで
- 2 旅行先 大阪府 泉佐野市, 千早赤阪村
- 3 目 的 泉佐野市の財政健全化実施プランの進捗状況
千早赤阪村の自立の村づくりについて議員定数削減の経緯と進捗状況
- 4 関係書類 別紙のとおり



日 時	平成 25 年 11 月 19 日 10:00 ~ 11:30
視 察 先	大阪府 泉佐野市 市役所
調査事項	泉佐野市財政健全化実施プランの進捗状況
対 応 者	議会事務局、市財政担当職員
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	1. 夕張市が財政再生団体となり、次に泉佐野市が加わられていることから、その背景と取り組みの点を取ると共に、今後本町に於ける財政健全化の指針を探る。 2. 背景としては、関西国際空港開港に合わせたアクセスの玄関口として、都市基盤整備、総合文化センター建設、市立病院運営などに進めたことから、他団体平均の約2.8倍の借金を抱えていることや、バブル経済崩壊後の長期景気低迷、地価下落、 winkelタウンへの企業進出が下回り、税収が年間約100億円不足したことにより平成20年度には財政健全化団体となった。 財政健全化プランを策定し、平成22年度までに達成する計画を、平成26年度末には健全化指標をクリアし、平成27年度には財政健全化団体から脱却する見通しとなる。 実施プランの主なものは、①人件費の削減として職員定数の見直し、職員給与等の見直し、行政委員会、審議会等委員報酬の見直しが行われる。②投資的経費として、小中学校の耐震化を優先新規事業、中学校給食、駅舎バリアフリー化、防災行政無線整備、消防無線デジタル化とし、その他事業については、費用効果の高いものに限る。③土地開発公社については、年々売地の買戻しを継続する等が歳出削減と見られ、歳入増に繋げる。①遊休財産売却及び企業誘致の推進、②市公設施設

等の命名権契約により、公共施設維持管理費、事業費の財源が確保
が図られ、着実に実施されている。

そのような実施状況に於いて、人件費の削減が、余りにも大きく
職員の負担増、モチベーションの低下による住民サービスへの影響が
懸念され、今後 財政健全化団体を脱した後の行政のあり方が
軽いかいと感じました。

日 時	平成 25 年 11 月 19 日 14:00 ~ 16:30
視 察 先	大阪府千早赤阪村
調査事項	自立の村づくりに向けてー議会からの提言ー作成の経過と進捗状況 議員定数削減の経過と進捗状況について。
対 応 者	議長 井上昭司氏 副議長 田中博治氏 議員 河野 浩氏 事務局長 和田博幸氏
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	平成22年4月に、自立の村づくりに向けてー議会からの提言ーと題し、議会基本条例の次の段階をまとめあげられている 背景としては、合併破たんによるものが大きく人口55,700で、議員定数が7名とのこと。その中で、議会運営などの様に円滑に行われているか、意見交換をした。 その中で、行政の議会費の構成比が29%であること、議員報酬が月額25万円、政務活動日が月額15日以内の説明を聞いた。議員定数については、行進過ぎた定数の削減は、住民の意向を行政に反映する議員本来の役割が弱体化する他、活動日議会開催も期待できなくなり、議員定数削減を是とする風潮は議会制民主主義を危うくし、議会運営を困難にするものがあると述べられました。又議員報酬のあり方についての提言として、報酬増減の第三者機関を設置し、これによって適正な報酬額が決定されるべきと述べられました。 本時に於いても、議員定数等調査特別委員会が進行中であり、定数、報酬等の適性を再確認の機会と考えます。